

2学期の おもいで！

ひがしいず幼稚園-職員室だよ！-

令和 7年 12月 18日

夏休みを思う存分楽しんだ子どもたちが幼稚園に元気に戻ってきた9月。「暑い～」と汗をかきながら運動会に向けて友達と一緒に体と心をたくさん動かした10月。お家の人や地域の方々とふれあうことが多かった11月。クラスの友達と劇や合奏などの表現遊びに取り組んだ12月。あっという間に2学期が過ぎていきました。

その中で、子どもたちは友達の姿から刺激を受けて「頑張ってみよう！」と挑戦したり、できなかったことができるようになったり、自分で「私ってすごい！」「成長したぞ！」と自信をもち、自己肯定感を高めていきました。

園児数は減少していますが、子どもたちの様子を見てみると、“今”のひがしいず幼稚園の環境は、それぞれが安心して“自分”をだすことができる“丁度良い”環境なのではないかと思うことがあります。3学期は学年の締めくくり！入学・進級に向け子どもたちとがんばっていきたいと思います。



「がんばるぞ、おー！」と大きな掛け声をかけ、みんなで力を合わせ、全力で取り組んでいたほし組さん。

いろいろなことに興味関心をもち、「楽しいな」「またやってみたいな」と全身で楽しんでいました。好奇心と意欲から自主性が育まれ、いろいろなことを吸収し、自信に満ち溢れた姿が見られていました。



飼育当番や会の司会など年長さんのやっていた仕事を少しずつ引き継ぎ始めたにじ組さん。会の司会でもマイクを使わずにしっかりと話せるようになっていました。

時には「やりたくない」「恥ずかしい」としり込みをする様子も見られましたが、気持ちを奮い起こし、ここぞという時にはクラスの友達と協力して取り組んでいました。心も体も強くなり、年長さんになる準備が始まりました。



「できるようになりたい」と強い気持ちで苦手なことにも挑戦していたそら組さん。竹のぼりや一輪車では、毎日繰り返し練習し、いつの間にか全員ができるようになっていました。

「こうしたらどう？」「それいいね」「やってみようよ」「やった！大成功」と4人で考えを出し合いながら取り組み、楽しみながら魅力的な遊びを展開していきました。アイドルになったり、女優になったり、幼稚園を引っ張るリーダーだったり…と大忙しの2学期でしたが、自分らしさを発揮して、頑張っている姿がたくさん見られました。

